

[野木町]

～美しい自然と日本の近代化遺産・
煉瓦窯で知られる町

個性豊かな県内各市町を紹介しているこのページ。今回は、
ひまわり畑と煉瓦釜の景観が有名な、野木町をご紹介します。



▲町のシンボルのひとつ、野木町煉瓦窯

夏の野木町を鮮やかな色彩で飾るのが、大輪のひまわりです。
ひまわりは、野木町の町の花。1977年（昭和52年）に、当時の
町のキャッチフレーズであった「緑と太陽の町、野木町」にふさわし
い花として、町の花に制定されました。今では町内全域で約100万本
が栽培されるまでになっています。
花の最盛期・7月下旬には、一大イベントである「ひまわりフェス
ティバル」が開催されます（今年は7月27日～7月29日の開催）。4.3ha
の敷地に約20万本のひまわりが咲き誇る会場では、ひまわり大迷路や
ひまわりトレイン号の運行、打ち上げ花火、歌謡ショーなどの催しが行
われ、関東全域から多くの人がつめかけます。
もう一つ、町のアイデンティティづくりにひまわりが色濃く活かされ
ているのが「野木ブランド」です。ひまわりの種や油を活かした菓子や
食品、花酵母ひまわりを使用した麦焼酎などは、ヘルシーなイメージで
人気。現在は町内産の花火等を含めて15種類が野木ブランドの認定を
受けています。



▲町のキャラクター、
ひまわりサンちゃん（向かって右）と
のぎのん（同左）

マンホールの蓋にも、
ひまわりのモチーフが



News

「のぎめし」

- 「のぎめし」とは、
- 野木町をモチーフにすること
- 町内産の農産物を使用すること
- ひまわりの種を使用すること

の3つのルールを取り入れた、
野木町のご当地グルメです。和
洋中、町内の各店舗が創意工夫
を凝らしたこだわりの料理を提
供しており、現在、5店舗・6
品が参加しています。

「近代日本を造った産業遺産 ホフマン式煉瓦窯」



野木町交流センター

高さ約34メートル、基底部は正
16角形で外周約100メートル。その
独特な姿から、町を代表するランド
マークとも言うべき存在が、ホフマン
式円形輪窯です（左・写真）。

その正体は、ドイツ人技師フリード
リヒ・ホフマンの考案した方式により
明治23年に造られた、旧下野煉化製
造会社の煉瓦窯で、窯を円形に配置す
ることで煉瓦を連続して効率的に製造

できるように
なりました。明治
23年から昭和46年までの約80年間、
多いときで月40万本以上の赤レンガ
を焼き上げ、小山市の西堀酒造や日光
市の日光金谷ホテルのほか、東京駅の
旧駅舎の一部にもそのレンガが使われ
たといわれます。
ホフマン窯は全国で数多く造られま
したが、野木町のものは完全な形を



▲窯の内部

保って現存する唯一のもので、国の重
要文化財に指定されています。2016
年5月に老朽化に伴う修復工事が完
了し、併設された野木町交流センター
「野木ホフマン館」と伴にリニューア
ルオープンしました。

●きらり館 （野木町ボランティア支援センター）

町のボランティア活動・町民活動の拠
点・ネットワークづくりの場として作ら
れた施設。無料レンタサイクルの貸出も
行なっています。



●満福寺

古河公方足利成氏が建て
たといわれる禅寺で、そ
の臺が残ります。鎌倉時
代中期の板碑や山門前の
桜が有名です。



山門前の桜



●松原大橋

1996年（平成8年）
に開通した、思川をまた
ぐ美しい姿のアーチ
橋。

●野木神社

約1600年前の創建で、坂上田村麻呂が東征か
らの帰途、ここに詣でて勝どきをあげたと伝えられ
る古社。田村麻呂手植えの推定樹齢の1200年イ
チョウの木や、江戸時代の高名な画家・谷文晁作
の黒馬繫馬図絵馬、和算の問題・解答を絵馬に
して奉納した算額などの遺物残り、地元小学生に
より奉納される太々神楽（五行の舞）で有名な12
月3日の提灯もみは800年の歴史を誇ります。



●ひまわり畑

今や町内で100万本が栽培されるひまわ
り。町の一大イベント、ひまわりフェスティ
バルの期間中には同じくひまわりで町おこし
を図っている益子町・上三川町とも連携し
て地域の活性化や町民の交流を進めるため、
平成25年より「ひまわりサミット」を行なっ
ています。

●のぎ水辺の楽校

渡良瀬遊水地の希少な
植物・昆虫などにふれ、
自然体験・自然学習を
進めるための活動です。
渡良瀬遊水地に隣接する
湿地を木道で散策するこ
ともできます。



田村麻呂手植えの
大イチョウ



ひまわりフェスティバル

野木町の 見どころ

●野渡橋

2016年6月に車両の
通行が約7年ぶりに再開
された野渡橋は、渡良瀬
遊水地東南端の渡良瀬川
に架かり、町と遊水地を結
ぶ唯一の橋。ここからは渡
良瀬川と思川の合流地点
を望むことができるビュー
スポットとなっています。



●熊野神社

毎年4月の例祭で子どもだけ
により奉納される舞・ささら
獅子舞で有名な神社。



profile

●野木町

栃木県の南の玄関口に位置する野木町。その面積は
県内自治体で最小ですが、人口密度は県内4位（町で
は1位）にあたります。1889年（明治22年）の町村
制施行で10か村が合併して野木村となり、1963年の
町村制施行で野木町が生まれました。今年は野木町誕生
から55周年の節目となりますが、県内の市町村では
唯一、町村制施行以来の約130年間で一度も合併がな
い自治体として知られています。

- ▶面積：30.26平方km
- ▶人口：25,099人（9,870世帯）
〔平成30年6月1日現在〕